



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システムソフト

コード番号 7527 URL <http://www.systemsoft.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉尾 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 緒方 友一

TEL 092-732-1515

四半期報告書提出予定日 平成28年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	2,459	16.0	224	72.0	186	77.2	137	91.1
27年9月期第3四半期	2,121	△4.8	130	△64.9	105	△70.9	71	△82.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	2.03	2.02
27年9月期第3四半期	1.06	1.06

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	7,456		6,911		92.3		101.52	
27年9月期	7,413		6,913		92.8		101.54	

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 6,884百万円 27年9月期 6,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,535	15.5	436	8.0	379	2.6	315	1.9	4.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期3Q	67,842,560 株	27年9月期	67,802,960 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年9月期3Q	31,719 株	27年9月期	31,719 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	67,795,955 株	27年9月期3Q	67,760,217 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間(平成27年10月1日～平成28年6月30日)におけるわが国の経済は、政府による経済施策や日銀による金融緩和により企業収益や雇用情勢の改善が見られる一方で、中国などの海外景気の下振れリスクや英国のEU離脱問題などによる株式相場や為替相場の不安定な動き等もあり、先行きの不透明感が残る状況で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、企業収益の改善をベースとしたIT投資は、慎重な姿勢はありますが回復傾向が継続しております。しかしながら、IT技術者の不足は続いており、今後の開発スケジュールや開発原価上昇への影響も懸念されております。

このような環境下、当社は、システム開発分野において、当社が得意とする技術要素・ノウハウを活かした案件の受注を進めることと併せ、Webマーケティング分野においても、当社の強みを活かしたWebシステム関連のコンサルティング業務と、そこから派生するシステム開発までを含めた、ソリューション全体の受注により、事業を拡大させるよう進めてまいりました。

また、企業としての信用力の強化、新規顧客の開拓、優秀な人材の採用等を目的として、平成27年12月17日をもって、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から市場第二部へ市場変更いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は前年同四半期に比して338百万円(16.0%)増加し2,459百万円、営業利益は前年同四半期に比して93百万円(72.0%)増加し224百万円となりました。また、経常利益は前年同四半期に比して81百万円(77.2%)増加し186百万円、四半期純利益は前年同四半期に比して65百万円(91.1%)増加し137百万円となりました。

なお、当社の賃貸不動産業界におけるシステム開発のノウハウを活かし、Home IoT事業分野に進出するため、さくらインターネット株式会社との合併により、平成28年5月20日をもって子会社株式会社S2iを設立いたしました。現時点では重要性がないため非連結子会社としておりますが、スマートロックを提供サービスの第一弾として、事業の立ち上げ準備をすすめております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① システムソリューション事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスを提供することに加え、賃貸不動産情報サイトの運営を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、不動産分野、生損保分野及び通信分野において新規案件の獲得ができたこと、また、不動産分野の新規案件については、ノウハウの蓄積を活かして原価の削減と開発期間の短縮を実現できたこと等により、売上・利益が大きく増加いたしました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は前年同四半期に比して522百万円(46.6%)増加し1,641百万円、セグメント利益は前年同四半期に比して218百万円(288.8%)増加し294百万円となりました。

② マーケティング事業

日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、顧客ニーズの多様化に伴いWebコンサルティングから派生するシステム開発は増加しているものの、景況感から企業のマーケティングコスト投入に慎重な姿勢が続いております。

これらにより、マーケティング事業の売上高は前年同四半期に比して168百万円(16.8%)減少し833百万円、セグメント利益は前年同四半期に比して117百万円(51.2%)減少し112百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ42百万円増加し、7,456百万円となりました。これは、減価償却等により固定資産が174百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が284百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ44百万円増加し、544百万円となりました。これは主に、買掛金の増加52百万円、退職給付引当金の増加13百万円等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ1百万円減少し、6,911百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少4百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期通期の業績予想につきましては、概ね当初計画どおりに推移しているため、平成27年10月30日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,752,608	2,672,688
受取手形及び売掛金	678,464	962,642
仕掛品	2,202	21,145
繰延税金資産	136,946	127,668
その他	26,761	30,627
流動資産合計	3,596,982	3,814,772
固定資産		
有形固定資産	103,034	89,511
無形固定資産		
のれん	2,767,013	2,634,319
その他	80,105	117,176
無形固定資産合計	2,847,119	2,751,496
投資その他の資産		
長期前払費用	662,510	583,010
その他	203,955	217,634
投資その他の資産合計	866,466	800,645
固定資産合計	3,816,621	3,641,653
資産合計	7,413,603	7,456,426
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,672	160,772
未払法人税等	23,187	22,723
賞与引当金	32,923	23,911
その他	128,365	124,352
流動負債合計	293,148	331,760
固定負債		
繰延税金負債	7,013	4,216
退職給付引当金	166,445	180,161
資産除去債務	17,064	17,200
その他	16,325	11,415
固定負債合計	206,849	212,994
負債合計	499,997	544,754

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,492,686	1,495,461
資本剰余金	4,248,888	4,251,663
利益剰余金	1,141,932	1,143,895
自己株式	△8,046	△8,046
株主資本合計	6,875,460	6,882,973
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,932	1,440
評価・換算差額等合計	5,932	1,440
新株予約権	32,213	27,257
純資産合計	6,913,605	6,911,671
負債純資産合計	7,413,603	7,456,426

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,121,309	2,459,891
売上原価	1,425,319	1,664,883
売上総利益	695,990	795,007
販売費及び一般管理費	565,566	570,630
営業利益	130,423	224,377
営業外収益		
受取利息	2,699	382
受取配当金	364	390
その他	511	636
営業外収益合計	3,574	1,409
営業外費用		
支払手数料	9,473	11,139
市場変更費用	—	18,625
その他	19,198	9,331
営業外費用合計	28,671	39,096
経常利益	105,326	186,689
特別利益		
新株予約権戻入益	1,135	—
特別利益合計	1,135	—
特別損失		
固定資産除却損	—	137
特別損失合計	—	137
税引前四半期純利益	106,462	186,552
法人税、住民税及び事業税	20,009	40,375
法人税等調整額	14,506	8,670
法人税等合計	34,515	49,046
四半期純利益	71,946	137,505

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム ソリューション事業	マーケティング事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,119,375	1,001,934	2,121,309
セグメント間の内部売上 高又は振替高	500	—	500
計	1,119,875	1,001,934	2,121,809
セグメント利益	75,701	230,244	305,945

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	305,945
のれんの償却額	△132,694
全社費用(注)	△42,828
四半期損益計算書の営業利益	130,423

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム ソリューション事業	マーケティング事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,626,556	833,334	2,459,891
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15,430	-	15,430
計	1,641,986	833,334	2,475,321
セグメント利益	294,297	112,398	406,695

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	406,695
のれんの償却額	△132,694
全社費用(注)	△49,624
四半期損益計算書の営業利益	224,377

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。